



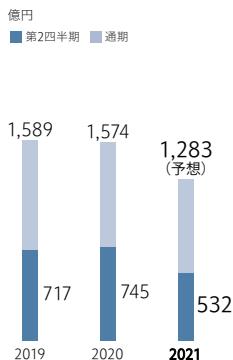
東 矢 通 信

第四十二卷

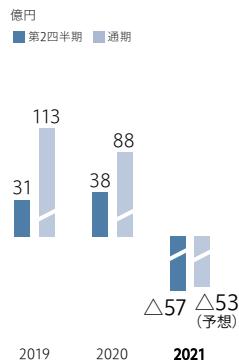
2020.4.1—2020.9.30

財務ハイライト 第2四半期累計期間および通期(3月期)

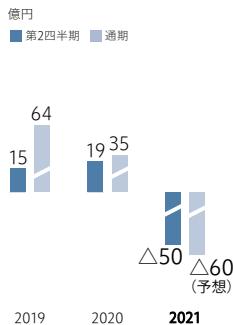
売上高



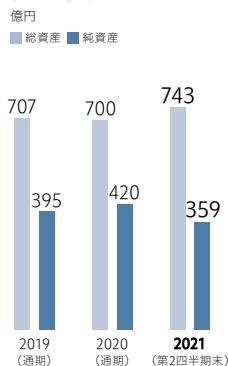
経常利益



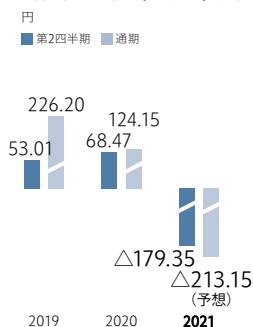
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



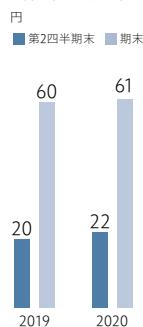
総資産／純資産



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



* 2021年3月期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で非常に厳しい状況になることが予想されるため、配当は見送らせていただく見通しです。

Contents

- 01 財務ハイライト
- 03 社長メッセージ
- 07 特集:「グリーンレーベル リラクシング」
コロナ禍の新たなオンライン接客の
取り組み
- 09 トピックス:「ユナイテッドアローズ」から
初のオリジナルスキンケアブランド
「JUICE (ジュース)」デビュー
- 10 トピックス:「ユナイテッドアローズ
アウトレット」店舗のショッピングバッグ
が紙袋になりました
- 11 サステナビリティ情報
- 13 お知らせ
- 14 株主メモ

編集方針

「東矢通信」は、ユナイテッドアローズグループの事業活動やサステナビリティの取り組み等の定性的な情報を株主様にお伝えするツールとして企画・編集しています。財務データ、株式情報などの定量情報につきましては、IRサイトをご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

www.united-arrows.co.jp/ir/

決算資料

www.united-arrows.co.jp/ir/lib/



サステナビリティ情報

www.united-arrows.co.jp/csr/

スタッフインタビューも掲載しています



ストアブランド紹介

store.united-arrows.co.jp/storelist/



社長メッセージ



株主の皆様には、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期は、かつてない厳しい環境となっています。新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた政府の緊急事態宣言を受け、4月、5月はほぼ全店舗を休業し、ネット通販のみの営業を余儀なくされました。ネット通販を中心に4月下旬から継続的にセールを開始して在庫消化に努めたものの、売上高は前年同期の71.4%となり、上半期は上場来初の赤字決算、通期についても赤字となる見通しです。配当についても見合わせざるを得ない状況となり、ご心配をおかけしてしまったこととお詫び申し上げます。

コロナ禍により、社会は大きく変化しました。密を避ける行動様式から大都市商業施設の回復が遅れ、ネット通販が拡大しています。リモートワークの広がりやビジネス需要のカジュアル

化が加速しています。収入不安による消費抑制で、低価格化も進んでいます。これらの変化によって、当社グループのさまざまな課題も浮き彫りになりました。

一方当社グループには、実店舗で培ったお客様との高い信頼関係、お客様の変化への対応力、高いネット通販売上構成比という強みがあります。これらの強みを活かしていくことで、現在当社が抱える課題を確実に解決できると考え、2020年5月に発表した2023年3月期を最終年度とする中期経営計画について、抜本的な見直しを行いました。コロナ禍を乗り越え、再び成長し続けられる体制作りに向けて、まさに大きく舵を切ったところで。

市場環境がコロナ禍前に完全に戻るとは想定しづらく、新しい環境への対応にはある程度の時間を要すると考えています。それを踏まえると、当中期経営計画の期間においては、この環境変化に対応できる企業体質に切り替え、事業の継続性を担保する収益性の向上に優先順位を置くべきと判断しました。

新中期経営計画について

新しい中期経営計画は「危機に打ち勝ち、稼ぐ力を取り戻す」をテーマに、「収益構造を抜本的に見直す」、「稼ぐ力を取り戻す」の2軸で取り組みます。

「収益構造を抜本的に見直す」については、不採算店舗、事業、子会社の精査を行い、撤退や統廃合を検討します。現時点では連結店舗数の10%程度の退店を見込んでおり、継続して検討していきます。本部組織の構造改革も進めます。機能や業務の括り直しを行い、無駄な業務を精査し、生産性を向上させます。2020年の春から進めているリモートワークを継続しながら、一部でフリーアドレス制を導入し、在宅と出勤のバランスをとった勤務体制の見極めを行っています。ここから出た課題を抽出し、最終的に現在数カ所に分散している本部オフィスを主要2拠点に集約し、固定費の抑制につなげます。人事施策においては、採用の抑制や退職による自然減により中期経営計画最終年度までに10%程度的人员数が減少する見込みです。業務を効率化した上で、人材をネット通販やカスタマーサポートなどの重要分野に再配置します。報酬制度も業績との連動性を高める仕組みに切り替え、人件費の下方硬直性を是正します。2021年3月期に

については役員の一部報酬の減額、賞与のカットも継続します。在庫については、在庫改善プロジェクトを立ち上げ、あるべき在庫の持ち方を検討します。在庫が増える要因を特定し、在庫量をコントロールできる仕組み作り、在庫状況を管理する指標の設定と評価制度との連動を図ります。セール販売や在庫評価損の抑制を図り、売上総利益率の改善につなげます。これらの取り組みにより、収益構造そのものを改善させていく考えです。

「稼ぐ力を取り戻す」については、まずは主力事業の収益を改善させます。商品面ではシーズンMDを変更してシーズンレス商品を投入、気候変動に対応できる商品計画に切り替えます。コロナ禍で加速するビジネス需要の変化に向けては、カジュアル商品を強化して対応します。ワンマイルウェアやアウトドア、ヨガなどのウェルネス商品など、今後の広がりが期待されるカテゴリーの商品も拡充し、売上を伸ばしていきます。価格帯については、主にカジュアル商品において価格帯を下に広げ、新たな需要の獲得を目指します。販売・宣伝面では、ネットを通じた商品説明動画の配信、オンライン接客など、非接触型の接客手法を確立します。ネット通販サイトにおいても商品説明コメントのレベルアップを図り、オンラインでの商品訴求力を高めます。コロナ禍により、来店前にネットで商品を吟味し、購入したい商品を絞り込んで短時間で買い物をしたというニーズは増大すると予想されます。これらの取り組みにより実店舗、ネット通販どちらも高い接客力をつけていき、お客様の買い方の変化に対応します。

新中期経営計画 (2021/3～2023/3)

基本方針

「危機に打ち勝ち、稼ぐ力を取り戻す」

1. 収益構造を抜本的に見直す
2. 稼ぐ力を取り戻す

財務目標

中計最終年度の 連結営業利益	70億～80億円 2021年3月期見込みの△65億円から 2年累計で135億～145億円改善させる
中計最終年度の ROE	12～14% (据え置き)
中計期間中の 配当性向	今後の投資計画を含む財務状況や金融市場の 動向等を見極めたのちに開示予定

新規事業については、ニューノーマル時代を見据えたコンセプトでグリーンレーベル リラクシングとコーエンの中間価格帯で新たな層を取り込む新事業の開発を行っています。この事業はネット通販を軸とし、従来のような多店舗化を前提としない形態を想定しており、中期経営計画期間の後半からスタートする見込みです。

OMO*の推進については、ソフト面の充実とハードの刷新の2軸で進めています。ソフト面ではネット動画を通じた商品紹介の拡充、オンライン接客のスキルアップなど、すでに新たな取り組みに着手しています。2022年3月期中には「ユナイテッドアローズ オンラインストア」のリニューアルを行い、物流やシステムなどの社内インフラを融合させた仕組みに切り替えます。ソフト面の強化と融合させながらOMO施策を進め、今後の成長への土台作りを行います。

財務目標についてはコロナ禍による影響を考慮し、中期経営計画最終年度の財務目標として、営業利益は従来目標の90億～100億円から70億～80億円に引き下げますが、ROEの目標12～14%は維持します。配当性向は、今後の投資計画を含む財務状況や金融市場の動向等を見極めたのちに開示する考えです。

新型コロナウイルス感染拡大の収束時期は未だ見えず、非常に厳しい市場環境は継続しています。なんとしてもこの危機を乗り越え、再び成長軌道に乗せるための土台作りを進めたいと考えています。当社のゴールは、お客様の明日を創り、生活文化のスタンダードを創造し続けられる企業であることです。引き続き当社がお客様にとってなくてはならない存在でいられるよう、総力を挙げて取り組んでまいります。株主の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

* OMO : Online Merges with Offline の略。オンラインとオフラインの融合を指す。

2020年12月

代表取締役 社長執行役員

竹田光宏

特集：「グリーンレーベル リラクシング」 コロナ禍の新たなオンライン接客の取り組み

当社では新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実店舗休業期間中の4月下旬からSNSを活用した新たな取り組みを開始しました。

「グリーンレーベル リラクシング (GLR)」では店頭以外のお客様とのつながりを維持したい、「ユナイテッドアローズ オンラインストア (UA オンラインストア)」の利便性を向上させたいという考えから、インスタグラムの「GLR」公式アカウントを利用したライブ配信と、コミュニケーションアプリのLINEを活用したLINE接客サービスをスタートしました。いずれもネット通販サイトだけでは伝えきれない着回しやサイズ感をご案内することによるお買い物の不安解消を目的としたもので、「GLR」らしい親近感のある接客対応がご好評をいただいております、お客様の購買行動の変化に対応した新たな接客サービスの場として継続・拡大を続けています。

ライブ配信では等身大のスタッフが登場し、毎回テーマに沿った商品のサイズ感やスタイリングについてご紹介しながらお客様のご質問にリアルタイムでお答えしています。店頭でもライブ配信を見てご来店いただいたというお声が増え、ネット通販だけではなく、実店舗の来店喚起にもつながっており、紹介した商品の売上はライブ配信前の1週間と比較して、平均約40～60%の伸長となっています。8月下旬からは新たなライブコマース「STYLING GUIDE」を開始。これは当社公式ホームページからどなたでも閲覧が可能で、閲覧から紹介商品の確認・購入までの流れをより簡潔にしたものです。ライブ配信を見ながらクリックひとつで「UA オンラインストア」の該当商品ページに移行できるため、よりスムーズにお買い物をお楽しみいただくことが可能になりました。

LINE接客はネット通販サイトでお買い物をされる際のお客様の不安や悩みに対して、一部の店長とスタッフがLINEを通じて店頭と変わらないサービスを提供するものです。「UA オンラインストア」の商品ページから気軽にお問い合わせが可能です。一問一答のやり取りではなく、着用シーンや着こなしについてお客様のご要望を引き出すなど販売スタッフのノウハウを活かした細やかなサービスが好評で、「UA オンラインストア」で商品を購入する際の安心感につながっていると考えています。

今後はコロナ禍をきっかけに生まれた新たな接客サービスの認知を広げ、「UA オンラインストア」でのスムーズなお買い物体験をサポートするとともに、実店舗との連動やサービスの拡充を進めていきます。



「UA オンラインストア」内の「GLR」商品ページには「LINEで販売員に相談する」というアイコンが表示。クリックするとLINEでのやり取りが可能に。



LINE接客の画面
素材感やサイズでのお悩み、画像ではわからない仕様のご質問などにスタッフが回答。

LINE接客のサービスについては、当社コーポレートウェブマガジン「ヒトとモノとウツワ」でも「オンラインショッピングをもっと楽しく便利に。LINEを通じた、新しい接客のカタチ。」として記事を公開しています。どうぞご覧ください。

<https://taisetsu.united-arrows.co.jp/12198/>



「STYLING GUIDE」は、ライブ動画を見ながらオンラインでお買い物ができる新しいサービス。右はPC画面。



トピックス

「ユナイテッドアローズ」から初のオリジナルスキンケアブランド「JUICE (ジュース)」デビュー



(左から) マルチオイル ライト&スムース (30ml, 60ml)、エッセンシャル クリーム、マルチオイル リッチ (30ml, 60ml)、エッセンシャル パーム
(その他、エッセンシャル スクラブウォッシュ、エッセンシャル フォームウォッシュも販売)

「ジュース」は佐賀県唐津市にある加唐島に自生する良質な椿のオイルを主な成分として作られた、「ユナイテッドアローズ」初のスキンケアブランドです。ラインアップは全6商品、9月25日から当社の一部店舗とオンラインストアなどで販売を開始しました。

コンセプトは「Care & Move」「Multi Use」「Individual」。人の肌と心にダイレクトに届き、肌を満たすと同時に心を充実させ、心身のバランスまで整えるスキンケアをご提案します。

「ジュース」の商品開発は「いつもより素敵にお洋服を着こなし、よりファッションを楽しんでいただくための土台に美容がある」という思いからスタートしました。主な成分はオレイン酸やビタミンEを豊富に含んだ椿オイルで、肌へのやさしさを考えた無添加設計です。性別や年齢にとらわれず、マルチなシーンに合わせてお楽しみいただけるように、椿の深いグリーンをベースにしたファッションナブルなボトルデザインと天然香料(精油)のみでブレンドされた香りを採用しました。

今後は椿オイルをベースにした新たなアイテムの追加や販路の拡大によりお客様の認知度向上を目指します。どうぞご期待ください。

ブランドサイト: www.juice-skincare.jp Instagram: [juice_skincare](https://www.instagram.com/juice_skincare)

「ユナイテッドアローズ アウトレット」店舗のショッピングバッグが紙袋になりました

当社は、サステナビリティ推進テーマの一つである「資源」領域のマテリアリティ「事業活動による廃棄物の削減」において、より一層の廃棄物の削減、リデュース、リユース、



リサイクルによる持続可能な生産および資源の利用を目指して、包装資材における環境保全の取り組みを強化しています。

「ユナイテッドアローズ アウトレット」店舗では、2020年10月より順次、ショッピングバッグ(手提袋)を、FSC®認証紙*1を使用した紙袋に切り替えています。併せて、展開サイズを5型から4型へ集約し、適正規格・調達量により廃棄物排出量の削減を目指します。

2020年7月、海洋プラスチック問題を背景にプラスチック利用の見直しを推進するレジ袋の有料化が義務化されましたが、当社ではこれまで「Reduce Shopping Bag Action*2」として、お客様にマイバッグのご利用を呼びかけ、ショッピングバッグの使用量削減を図ってきました。

今後も、お客様のご理解、ご協力をいただきながら、各ストアブランドの店舗において、ショッピングバッグの素材変更、認証紙や古紙の積極的な利用、簡易包装の導入や、ショッピングバッグ使用量削減のさらなる後押しを想定した有料化などの取り組みを、段階的に実施していきます。

*1 FSC®認証紙: 国際的なNGOであるFSC® (Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会)の責任ある森林管理や加工・流通の規格に則り認証された紙で、適切に管理されたFSC®認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料から作られています。



*2 Reduce Shopping Bag Action: お買い物の際マイバッグをお使いいただき、ショッピングバッグ包装をご辞退いただくと、1回につき10円を当社が一般社団法人more treesに寄付するプログラム。限りある資源を大切にしてお客様のエコの思いを引き継ぎ、現在は岩手県住田町の多様性のある森作りをサポートしています。アクションにご参加いただいたお客様には、ハウスカードポイント10ポイントを差し上げています。
<https://taisetsu.united-arrows.co.jp/action/>



サステナビリティ情報

サステナビリティ推進の指針を定めました



昨今、持続可能な開発目標（SDGs）への施策が求められる中、当社は2021年3月期より、サステナビリティを経営理念に次ぐものとして位置付けました。サステナビリティステートメントのほか、5つのテーマ（サプライチェーン、資源、コミュニティ、人材、ガバナンス）と16項目のマテリアリティ（重要課題）を掲げ、目指すゴールイメージや中長期目標を設定し、サステナビリティ推進の指針を定めました。

当社は、経営理念体系を含む「社会との約束～5つの価値創造」のもと、ステークホルダーの皆様の価値向上を使命とする考えに変わりはありません。新たに定めた指針を、取締役をはじめ、すべての従業員の姿勢とし、5つの価値創造を一段と実践していきます。

<推進体制>

経営会議の下部組織として2020年4月に「サステナビリティ委員会」を発足しました。代表取締役 社長執行役員が委員長となり、業務執行取締役を構成メンバーとして運営しています。同委員会を柱に、社内各部門が横断的に連携して関連活動を推進しています。

<サステナビリティステートメント>

私たちは「生活文化のスタンダードの創造」を目指し、5つの価値創造を通じて持続可能な社会と環境の実現に向け、主体的に行動し続けます。私たちは、それを積み重ねることで世界を豊かにし、輝かせることができると信じています。

<テーマとマテリアリティ>

5つのテーマ	16項目のマテリアリティ
サプライチェーン： 責任ある商品調達と サプライチェーンの構築	商品調達のトレーサビリティ管理
	サプライチェーンにおける人権と労働環境の尊重
	環境配慮素材の利用推進
	生物多様性・動物福祉に配慮した原材料の調達
	低炭素化の推進
資源： 廃棄物削減と 循環型モデルの実現	省エネルギー・再生可能エネルギー利用の推進
	事業活動による廃棄物の削減
コミュニティ： 地域社会の発展を めざした活動の継続	不要になった商品の回収・リユース・リサイクル推進
	地域社会・コミュニティや被災地の支援
人材： 個の尊重と働きがいを 生む環境づくり	ダイバーシティ・インクルージョンの推進
	働き方改革
	人材育成
ガバナンス： 100年企業をめざした 経営基盤の確立	適正な評価・報酬
	コーポレートガバナンス
	リスクマネジメント・コンプライアンス
	個人情報保護と情報セキュリティ

「サステナビリティ」サイトや「ヒトとモノとウツワ」サイトで、関連情報をご紹介します。併せてご覧ください。

サステナビリティサイト
従業員がどのような思いで日々サステナビリティに取り組んでいるか、その一端を「スタッフインタビュー」でご覧いただけます。
<https://www.united-arrows.co.jp/csr/>



ヒトとモノとウツワ「CSRからサステナビリティへ。ユナイテッドアローズの持続可能な成長戦略とは。」
<https://taisetsu.united-arrows.co.jp/11820/>



お知らせ

株主の皆様へアンケートご協力をお願い

株主の皆様からのご意見を今後のIR活動の参考にさせていただくため、アンケートを実施いたします。下記概要をご確認の上、アンケートにご協力いただきますよう、お願いいたします。



回答いただいた方の中から抽選で30名様に、当社が展開する店舗*および通販サイト「UA オンラインストア」にてご利用いただける、ユニテッドアローズ ギフトカード3,000円分を贈呈いたします。

*一部店舗を除きます。

ユニテッドアローズ ギフトカードのご案内
www.united-arrows.co.jp/giftcard/

アンケート実施期間 2021年1月13日まで

回答方法

パソコンからアクセスされる場合

https://app.x-gauge.jp/s/UA_ltd32/ua_stockholder/?shop_id=1

スマートフォン・タブレットからアクセスされる場合

QRコード読み取り機能のついたスマートフォン・タブレットをご使用の方は、こちらのQRコードからもアクセスできます。



紙面での回答を希望される場合

メール本文に「氏名」「送付先の住所」「アンケート用紙送付希望の旨」をご記載の上、下記までお問い合わせください。アンケート用紙を郵送いたします。

株式会社ユニテッドアローズ IR広報部

メール ua7606irkojin@united-arrows.co.jp

- 賞品発送の時期は2021年2月中旬とし、抽選の結果は当選者の方への発送をもって代えさせていただきます。

- お預かりする個人情報は、当選者への賞品発送の際のみに使用し、回答内容は今後のIR活動に活かす目的以外には使用いたしません。

取締役の異動について

2020年11月6日付で当社取締役の松崎善則が常務執行役員から副社長執行役員に、木村竜哉が常務執行役員から専務執行役員に異動となりました。

役員一覧（2020年11月6日現在）

代表取締役 社長執行役員	竹田 光広	社外取締役	
取締役 副社長執行役員	松崎 善則	(常勤監査等委員)	酒井 由香里
取締役 専務執行役員	木村 竜哉	(監査等委員)	西川 英彦
	藤澤 光徳		倉橋 雄作
取締役 常務執行役員	東 浩之		
	中井 陽子		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告 やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
単元株式数	100株

株式事務のお手続きに関するご案内

株式事務のお手続き（住所、氏名等の変更、単元未満株式の買取請求）については、株主様が口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。未払い配当金の受取りのお手続き、株主優待券や配当金計算書の各種株式事務書類の発送状況等に関するお問い合わせは、三菱UFJ信託銀行本支店にて承ります。

将来予測に関する記述についての注意事項

当報告書の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいています。が、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。

実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

IR情報に関するお問い合わせ先

株式会社ユニテッドアローズ IR広報部

住所 〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-19 日本生命赤坂ビル
お問い合わせフォーム
www.united-arrows.co.jp/ir/contact/

